



原野雄一医師

以前は便秘で困っていたのに、昨年から軟便になり、今は下痢便が1日に3～4回あります。正月に下血し、救急入院。大腸内視鏡検査の結果、潰瘍性大腸炎と診断されました。難病でしょうか。完治は難しいですか。治療法を教えてください。(79歳、女性)

潰瘍性大腸炎

頻繁に下痢が続いた上、下血で緊急入院すると難病ではないかと不安になりますよね。ただ、過剰に心配する必要はありません。

投薬などで前向きに治療を

潰瘍性大腸炎は、大腸の中で異常な免疫反応が起こることが原因と考えられています。直腸から上方に向かって連続する粘膜の炎症、潰瘍が特徴です。炎症の強さや病変が広がっている範囲などを大腸内視鏡検査により診断します。ちなみに免疫反

答は、治療は内科治療が中心で炎症を抑える5-ASAという薬を基本に、ステロイドなど免疫をコントロールする薬、血球成分吸着除去療法などから、患者さんに合った治療を選びます。治療で症状が改善することを寛解と言います。ただいったん

人とほとんど変わらない日常生活を送ることができています。前向きに治療を行いましょう。身体的、精神的ストレスも悪化原因の一つ。日頃から健康的で規則正しい生活を心がけてください。

(兵庫県医師会、原野雄一 宝塚市、はらの内科クリニック) 第1、3、4日曜に掲載します。

ん。安倍晋三元首相も同じ病気で苦勞されましたが今は元気に活躍されています。

大腸を含む消化管には、食べ物に混じってさまざまな外敵も入ってきます。これらに対抗するため腸の中はたくさんの免疫細胞で守りを固められていま

応とは細菌やウイルスなどの外敵から体を守るシステムです。潰瘍性大腸炎により粘膜の機能が損なわれると下痢が続いたり、粘膜の損傷により便に血が混じったりします。また炎症が強いと、発熱や、栄養状態の悪化で体重が減ってしまう方もい

寛解して症状がなくなっても、根本から治ったわけではなく長い間の治療が必要です。自己判断による治療の調節、中止は危ないのでやめましょう。

潰瘍性大腸炎は難病で完治は難しい病気です。しかし医療の進歩で多くの患者さんが健康な

相談したい具体的な症状をお寄せください。採用分について医師が紙上でお答えします。〒650-8571 神戸新聞社報道部医療・科学チーム。下記のファクス番号、メールアドレスでも受け付けます。住所、名前、年齢、電話番号をお忘れなく。